

特集 企画展

# 近世薩摩藩の 対外交流

令和5年  
2.28<sup>◎</sup> - 5.28<sup>◎</sup>  
黎明館3階 企画展示室

表紙はどんな資料?

円球万国地海全図



島津重豪の命を受け、享和2(1802)年に石塚崔高らが作製した世界地図。大西洋で分けた東西の半球図が描かれている。日食や月食の原理なども書き込まれており、天文学や地理学などに関する当時の日本最高水準の知識の結晶と言える。

## カンボジアへの渡航許可



徳川家康異国渡海朱印状

## 1章 / 朱印船貿易と琉球

## 琉球 使節の江戸上り



琉球人行列絵巻 [玉里島津家資料]

琉球国王が即位した際の謝恩使や、幕府の将軍が就任した際の慶賀使が江戸へ赴くとき、薩摩藩が引率しました。

薩摩藩の8代藩主島津重豪は、海外の文物に強い興味を持ち、外国語も話したとされます。薩摩藩において海外への関心が高かった背景には、薩摩藩が本土最南端に位置したという、地理的な特性もありました。

朱印船や琉球との貿易の他、外国船が接近しての衝突、漂流民など、薩摩藩は外国と様々な交流を持ちました。

2023年は重豪が亡くなり190年の節目に当たることから、本展示会では、近世薩摩藩の対外交流の動きを紹介します。

## オランダ人との交際

島津齊興はオランダ商館長と交際し、時計などを贈られました。

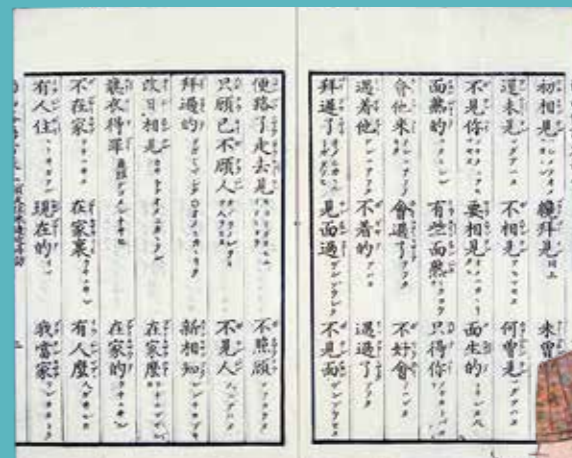
御文庫 五本針置時計他 [玉里島津家資料]



島津重豪肖像(部分) [玉里島津家資料]

## 2章 / 8代藩主重豪と10代藩主斉興

## 中国語を話す藩主



南山俗語考

重豪が編さんさせた中国語の単語の対訳と会話集。「南山」は重豪の号。重豪は中国語を用いて近臣と話していたとされています。

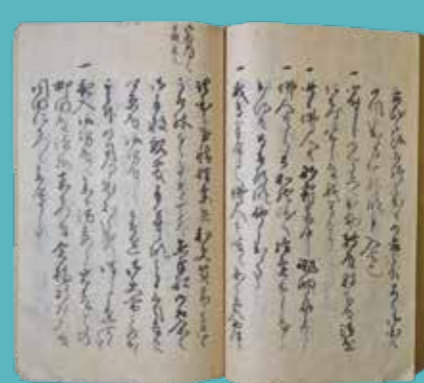
## 3章 / 列強の接近と11代藩主斉彬

## イギリス人との衝突



異国船宝島来泊一件

## フランス人との貿易計画



市来四郎日記

## Column

## 漂流民と帰還



魯西亜国漂着之始末御札之節申上候趣意口書

## ロシアへの漂着

ロシアに漂着した川内の船員らが、女性の姿を見て「風呂敷のようなものを被っている」と述べています。

関連イベント

■ ふるさと歴史講座  
「島津重豪 治世の実像」  
日時:3月5日(日) 13:30~15:00  
講師:九州大学名誉教授 安藤 保 氏  
会場:黎明館3階 講座室  
※ 事前申込制 応募期間:1月27日(金)~2月10日(金)

■ 学芸講座(展示解説講座)  
「近世薩摩藩の対外交流」  
日時:3月18日(土) 13:30~15:00  
講師:黎明館主任学芸専門員 新福 大健  
会場:黎明館3階 講座室  
※ 事前申込制 応募期間:2月17日(金)~3月3日(金)

■ 展示解説  
日時:3月11日(土)、4月1日(土)、4月29日(土)、5月6日(土)、5月20日(土)  
いずれも13:30~14:10  
会場:黎明館3階 企画展示室 ※ 要入館料、事前申込不要  
※ ふるさと歴史講座・学芸講座の申込詳細は、ホームページまたはチラシをご覧ください。  
※ ふるさと歴史講座・学芸講座後の展示解説はありません。  
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催期間や関連イベントを変更または中止にする場合があります。